

No. 855

500票の明暗

22/1/

—都議選開票ミス—

日本の選挙史以来はじめての事件！
他候補の500票がまぎれ込んでいた。！

昨年東京都議選江東区選挙区で起きた「500票ミステリー」は、次点の深野候補（自民）から最下位当選の小倉康男都議（社会）の有効票の中に疑問票があるとして、都選管に当選無効の意義申し立てを行ったが都選管はミスはないと却下、これを不満とした深野候補派が高裁に訴えたのが、「500票ミステリー」事件を生むきっかけとなった。

その後、高裁の現場再現で小倉氏の有効票の中に他候補の「500票」がまぎれ込んでいる事が明らかになり、小倉都議は議席を失う判決を受け、都選管は選挙管理事務体制を批判された。この事件は代議制民主主義の根底である選挙に対して有権者の選挙不信、ひいては政治不信を招く重大な問題に発展しようとしている。

70年安保の周辺

うふく

6月22日いっぱい固定期限が切れる日米安全保障条約について、賛否両論がうずまいています。

結局は自民党政権のもとで自動延長に入る安保……。

しかし、10年前の60年安保のような国民の盛り上りがまだみられないようです。

ベトナムやカンボジアなど国際情勢の悪化、それをしりめに成長する「経済大国日本」。もう一度安保について考えてみる必要がありそうです。

部 605